

マルクス主義の革新

カール・コルシュとマルクス主義研究週間

ミヒャエル・ブックミラー編著 青山孝徳訳

四六判上製 252 頁 定価（本体2,600円+税）

ISBN978-4-911530-00-9

スターリニズムとファシズムとの狭間で マルクス主義の可能性を追求した人びと

1923 年、ドイツ・ゲラベルクで開催された「マルクス主義研究週間」は、気鋭のマルクス主義理論家であったコルシュ、ルカーチをはじめゾルゲ、ヴィットフォーク、福本和夫らが参加した。フランクフルト学派の起点ともなったこの会合を交点としてコルシュの思想の軌跡をたどり、20 世紀初頭に開花しようとした非スターリン主義的マルクス主義の実像を浮き彫りにする。

あのリヒャルト・ゾルゲは、なぜ学問の道を捨て
いかにしてコミンテルンの諜報員になったのか？



著者紹介

ミヒャエル・ブックミラー 政治学者 元ライプニッツ大学教授、カール・コルシュ全集編者。編著書の邦訳に『カール・コルシュのアクチュアリティ』(こぶし書房、2019 年)がある。

アトリエ花粉館 電話0848-44-2436
広島県尾道市向東町37-2

JRC 経由ですべての取次への出荷が可能です。
返品は長期にお受けいたします(返品条件付注文扱い)。[了解者 JRC 宮尾]

ご注文は JRC へ FAX 03-3294-2177



マルクス主義の革新
今日に有益な論点を提示する「社会化論」
時代を先取りする思想家カール・コルシュの足跡を辿る
西角純志
『週刊読書人』5月23日号に
本書書評が掲載されました

注文書	番線印	冊数	ミヒャエル・ブックミラー編著 青山孝徳訳	定価 (本体2600円+税)	ご担当者名
		冊	マルクス主義の革新 アトリエ花粉館		
			ISBN978-4-911530-00-9 C1010 ¥2600E		